



こんなことしてます
三重病院

レポート

手作りクリスマスコンサート

冬の恒例行事となりました緑ヶ丘特別支援学校の児童・生徒さんと先生方による「手作り☆クリスマスコンサート」が、今年も12月13日午後外来ホールにて開催されました。

クリスマスツリーとイルミネーションで飾られたランドピアノを中心に、小学部の皆さんによるピアノやリコーダー等の合奏、中学部・高等部の皆さんによるミュージックベル・トーンチャイムの演奏、生徒さんによるギターやピアノの独奏やクラリネットとギターのデュエット、先生方のバイオリンやフルート、ホルンの演奏など、クリスマスソングを中心にさまざまな楽器の生の音色を楽しませていただきました。突然の“マツケン”乱入に、入院患者さんも一緒に鳴子をならして盛り上がりたりもして、とても楽しい時間を過ごすことができました。

演奏会が終了するころには外はすっかり暗くなって



★1・2・3はいい

いましたが、事務部手作りの玄関ロータリーの屋外イルミネーションがピカピカ光って、クリスマス気分をさらに盛り上げてくれていました。ご出演いただいた皆さん、運営をお手伝いいただいた職員の方、ありがとうございました。

(指導主任 村松順子)



★鈴が鳴る、ハイッ



★みんなで踊りましょ



★リボンが決まって演奏もバッチリ

医療福祉相談室 だより

医療福祉相談室には小さな図書コーナーがあります。子どもの病気（難病・発達障害・こころの病気）に関するものから、介護する側・される側、子育てのヒントになる本、話題の本などおいています。ソーシャルワーカーが面接中の時はお部屋に入れませんが、それ以外はいつでもかまいませんので外来・入院問わずふらりのぞいてください。

今月のイチオシ

「自閉症の子とたのしく暮らすレシピ」

佐藤智子 作／ぶどう社



筆者は小学校教諭で、次男坊が広汎性発達障害です。試行錯誤の1歳から6歳までの保育園時代を中心に、日常生活のささいなことだけど重要なこと…寒くても着ないジャンパーを着せる方法、苦手な歯医者さんにどうやってつれていか、トイレに1人でいけるまで、自転車にのれるまで…など、自閉症児がその特性ゆえに傷つかなくてすむような環境の作り方や、教える方法、コミュニケーションの方法がまとめられています。私たちには大丈夫なことが自閉症児には我慢できないことだったり、また、周りの家族は我慢が必要だったりしますが、みんなが心穏やかに暮らせるようなヒントが見つかるかもしれません。
(ソーシャルワーカー 高村 純子)